

意見の概要および市の考え方

No	意見の概要	市の考え方	修正
I P2の「1.彦根市のシティプロモーションとは」の文面について			
1	<p>文面内の下から2行目の「まちを良くしようとしている人を応援したい」において、応援という言葉ではなく、“支援”の方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>応援では行動や精神面も含まれるため、“行動”を明確に示す“支援”の方がよいのでは、と思います。</p> <p>同文面内の強調文字の箇所です「市民がまちに誇りと魅力を感じ、その想いが形になって動き出すための仕組みづくり」ともありますので。</p>	<p>本戦略における市民の感謝(応援)意欲は、「支援」といった具体的な行動に限定せず、感謝の気持ちの表現・発信を含めた意欲を指していますので、修正は行いません。</p>	なし
II P3の「観光プロモーションとシティプロモーションの違い」の表について			
2	<p>本項目の表内の「期待する行動」欄の黄色の塗りつぶし部分で“感謝(応援)”とありますが、前ページで「応援したい」と記載されているので、“応援(感謝)”の方が良いのではないのでしょうか。加えて、“支援”も併記していただきたいです。</p>	<p>本戦略においては、市民の「感謝(応援)意欲」という表現で統一しています。</p> <p>また、「支援」といった具体的な行動に限定せず、感謝の気持ちの表現・発信を含めた意欲を指していますので、修正は行いません。</p>	なし
III P13の「戦略の柱「熱を伝える場づくり」に沿った取組」の項目について			
3	<p>評価ポイント欄での「(参画意欲)」とありますが、“自らのチャレンジに参画する”は少しおかしいように思いますので、“(行動意欲)”とされた方が良いのではないのでしょうか。</p>	<p>本戦略における市民の参画意欲は、「彦根を良くする活動等」への参画意欲であり、自らが発案・企画する取り組みも含むため、修正は行いません。</p>	なし
4	<p>この項目のまとめとして「チャレンジする市民の取組に、さらに多くの市民が参画(感謝・応援)しやすい仕組みづくり」とありますが、“…参画・支援(…)”の方が良いと思います。</p>	<p>この文脈においても、「支援」といった具体的な行動に限定せず、意欲の表現・発信を含めて「感謝・応援」としていますので、修正は行いません。</p>	なし
IV P14の「彦根市シティプロモーション戦略庁内プロジェクトチーム」の項目について			
5	<p>この欄の文面で、「積極的に情報発信することを促進することで、職員の推奨意欲向上を図っている。」とありますが、この文面の前段でSNS等の開放といったことを述べておられるので、“積極的に情報発信をする場を与えることで、職員の発信意欲向上を図っている。”では、いかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえて「…情報発信することを促進することで」を、「情報発信できる環境を整え」に改めます。なお、職員の推奨意欲の向上を目的とした取組の紹介ですので、「職員の発信意欲向上…」への修正は行いません。</p>	あり
6	<p>また、この項目の改善が必要なポイント欄の「各所属の業務においても、…」では、主語がなく、わかりづらいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえて「各所属の業務においても、」は「庁内各所属においても、」に改めます。</p>	あり
V P15の「成果指標の推移」の項目について			
7	<p>NPS調査をされたことは大変おもしろい取組と思います。一方、サンプルサイズの情報に記載されていません。分析をされる場合は、サンプル情報例えば、サン</p>	<p>ご指摘の趣旨を踏まえて、サンプル数と、詳細を掲載した市ホームページのURLを記載します。</p>	あり

	ル数、年代、性別等の情報が必要だと思います。この分析の「正しらしさ」へと繋がりますので、記載のご検討をお願いいたします。		
8	また、同ページ内にあるNPSのスコア図は、低スコアから高スコアが左から右へなっていますが、①NPSの計算式が「高一低」となっていること、②表が高スコア層から低スコア層が、左から右に並べていることから、スコア図も高スコアから低スコアの絵を、左から右への方が良いのではないのでしょうか。	このNPSのスコア図については、第1期戦略でも同じものを用いていることや、他都市の事例等でも一般的にNPSを説明する際に同様の図が採用されていることから、修正は行いません。	なし
9	加えて、高スコア層において、2020年度の結果が2018年度の結果より劣っているように思われますが、その記載とその解析(要因分析)がないように思います。いかがでしょうか。次につなげるためには必要ではないのでしょうか。	市民の推奨意欲、参画意欲、感謝意欲のNPSの解析については、P.28「10.成果指標について」でも記載しており、全体の数値に対して行うのではなく、数値が上昇した層や、下落した層について、年代、性別などの属性情報を分析し、その後の施策形成に活用することとしていますので、修正は行いません。	なし
VI P17の「本戦略への賛同とシティプロモーションの認知度向上がポイント」の項目について			
10	この項目の文面で、「本戦略に対する認知度を向上させ、理解を広げるため…」とありますが、「認知度」と「理解」が逆だと思います。理解より認知の方が、ハードルが高いです。いかがでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえて「本戦略に対する理解を広げ、認知度を向上させるための取組が必要です。」に改めます。	あり
VII P20の「5.戦略の目的と目指すゴール」について			
11	ここに書かれている図に、「支援」とか「協働」といった言葉は入りませんかでしょうか。	本戦略における市民の感謝(応援)意欲は、「支援」といった具体的な行動に限定せず、感謝の気持ちの表現・発信を含めた意欲を指していますので、修正は行いません。	なし
VIII P21の「市民の参画意欲、感謝意欲、推奨意欲の向上」について			
12	ここでもはっきりと行動を示す「支援」という言葉が欲しいと思います。「応援」だけでは、精神面だけでもオツケーです。	本戦略における市民の感謝(応援)意欲は、「支援」といった具体的な行動に限定せず、感謝の気持ちの表現・発信を含めた意欲を指していますので、修正は行いません。	なし
13	また、「これらの…価値の向上につながります。」とありますが、この文面の中が逆だと思います。「人が増えるからまちの価値が上がるのではなく」、「まちの価値があがるから人が増える」のではないのでしょうか。いかがでしょうか。	ご指摘の趣旨を踏まえて修正します。	あり
IX P24の「7-5.市役所職員によるシティプロモーションの強化」の項目について			
14	ここに記載されている働きは、シティプロモーション	市役所全体の取組としての記述です	なし

	戦略推進委員会ではなく、シティプロモーション推進課ではないのでしょうか。	ので、特段の修正は行いません。	
X P25 の「8.第2期戦略の目標・キーメッセージ」について			
15	ここでも“応援”という言葉だけでなく、“支援”といった言葉も織り交ぜられてはいかがでしょうか。	本戦略における市民の感謝(応援)意欲は、「支援」といった具体的な行動に限定せず、感謝の気持ちの表現・発信を含めた意欲を指していますので、修正は行いません。	なし
XI P32 の「彦根市役所シティプロモーション戦略庁内プロジェクト(庁内 PT)」の項目について			
16	「本戦略を行政活動の面から推進するため、彦根市役所内に設置するプロジェクトチーム。…」とありますが、具体例を少し併記されてはいかがでしょうか。一般市民の方が“行政活動”とって、イメージできるでしょうか。いかがでしょう。	具体例を出すことで関係する業務に関する先入観を与える懸念があるため、あえて行政全般を指す「行政活動」としていますので、修正は行いません。	なし